

平成 26 年 度

鳥取大学 A O 入試第 2 次選考

小 論 文

(工学部 社会開発システム工学科)

(注意)

1. 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙を含めて 2 枚，解答用紙は 2 枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙に記入すること。
4. 下書，メモ等を試みる場合は，問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが，問題冊子は持ち帰ること。

平成26年度 鳥取大学AO入試第2次選考 「小論文」
(工学部 社会開発システム工学科)

「課題」

気象庁は、災害発生の恐れがあるときに「注意報」、大きな災害発生の恐れがある際には「警報」を発表し、警戒を呼びかけていた。これに加え、予想される現象が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれ著しく大きい旨を警告して行う警報として、「特別警報」が新設された。これは、気象庁が発信する最大の警告と言える。

「特別警報」が創設された経緯、もしくは背景について自然環境面と社会環境面から貴方が知っているところを述べなさい。さらに、「特別警報」が創設されたことによるメリットとデメリット、および「特別警報」の課題について、貴方の考えを述べなさい。ただし、全体を800字以内にまとめること。

なお、記述にあたり、以下のキーワードを参考にしてください。

キーワード：「自然災害」、「危機意識」、「避難」、「情報の形骸化」、「情報伝達」、「予測技術の向上」